

平成 28 年 9 月 12 日

市政記者クラブ 様

総務局総合調整部

主幹(アジア競技大会の招致に係る総合調整) 長屋 信明

TEL 972-2230

「第 20 回アジア競技大会」に係る J O C 理事会に向けた対応について

2026 年開催予定の第 20 回アジア競技大会につきまして、平成 28 年 9 月 13 日に開催される日本オリンピック委員会（J O C）理事会において国内候補都市が決定される予定です。

平成 28 年 9 月 5 日に本市は立候補の取り下げを発表したところですが、翌 9 月 6 日に県から市の提案を受け入れる旨の申し入れがあり、現在、本市は県との協議を改めて進めているところです。

現時点では共催へ復帰するとの判断ができないため、本日午後、新開副市長より J O C に対し現在の状況を説明するとともに、9 月 13 日の J O C 理事会における対応について相談する予定です。

(添付資料)

- ・ アジア競技大会の共催に復帰するまでの手続き
- ・ 愛知県と名古屋市の調整経緯

アジア競技大会の共催復帰のための手続き

1 行政手続き

検討事項

愛知県との合意内容の文書化

- ▶ 大会全体経費・県市負担割合・選手村整備等・瑞穂陸上競技場整備について

大会全体経費の確認

- ▶ 大会全体経費

運 営 経 費	4 4 0 億円
競技会場仮設整備費	1 1 0 億円
選手村仮設整備費	3 0 0 億円
合 計	8 5 0 億円
	(公費負担分 6 0 0 億円)

開催構想 Version.2 の記載内容の確定

意思決定

名古屋市アジア競技大会招致推進本部会議での意思決定

2 議会への説明

所管事務調査

共催に復帰することの是非について議論

- ▶ 愛知県との合意内容の妥当性について
 - ・ 大会全体経費
 - ・ 県市負担割合
 - ・ 選手村整備等
 - ・ 瑞穂陸上競技場整備
- ▶ O C A 総会について

愛知県と名古屋市の調整経緯

日付	内容
7月5日 県からの提案	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費1,150億円、県市負担割合1:1 瑞穂陸上競技場は別途調整
7日 市から提案	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費1,150億円、県市負担割合3:1 瑞穂陸上競技場の県市負担割合1:1
8月1日 県からの提案	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費650億円 (選手村300億を除く。さらに経費を圧縮)
5日 市長・知事会談 (提案)	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費950億円、県市負担割合2:1 (選手村300億を含め、650億円に加算) 瑞穂陸上競技場の県市負担割合1:1
9日 市から提案	<ul style="list-style-type: none"> 5日の提案に以下の案を追加し、回答期限を8月16日に設定 大会全体経費950億円、県市負担割合3:1 瑞穂陸上競技場の県市負担割合1:3
19日 市長・知事会談 (申し入れ)	<ul style="list-style-type: none"> 8月16日の回答期限を8月23日に延長 まとまらなければ、共催から降りざるを得なくなる
22日 県からの提案	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費550億円 (選手村300億は除く。さらに経費を圧縮)
25日 市から提案	<ul style="list-style-type: none"> 大会全体経費850億円、県市負担割合2:1 (選手村300億を含め550億円に加算) 瑞穂陸上競技場の整備は本市。ただし、アジア競技大会開催に必要な改築等の追加経費は県が負担 選手村の整備と大会後の跡地利用について、共同検討体制を構築して速やかに検討を開始
30日 県からの連絡	<ul style="list-style-type: none"> 財政計画を掲載せずに開催構想 Version.2 を9月6日に記者発表する
9月5日 市発表	<ul style="list-style-type: none"> 庁内会議で取り下げを決定 市長定例記者会見にて、本市の立候補の取り下げを発表 県及びJOCに対して立候補の取り下げを通知
6日 県からの連絡	<ul style="list-style-type: none"> 市の提案を受け入れる旨の申し入れ
その後	<ul style="list-style-type: none"> 共催復帰に向け調整中